

東京都立羽村高等学校 令和3年度 年間授業計画

教 科 : 公民

科 目 : 政治・経済

単位数 : 2 単位

対象学年組 : 第3学年 1組～8組

教科担当者 : (1組～8組 : 吉岡)

使用教科書 : 最新政治・経済 (実教出版)

使用教材 : 最新政治経済演習ノート (実教出版)

	指導内容	政治・経済の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
4月	ガイダンス 現代の政治 現代国家と民主政治 ・民主政治の成立 ・民主政治の基本原則	ガイダンスを行う。年間を通して適宜時事問題を扱うことを伝える。 民主政治、法の基本原理についての知識、意義、意味について考察させ理解させる。 政治や法に関する基本的な概念や理論を理解する。	定期考査 課題 等	8
	・民主政治の仕組みと課題 ・世界の主な政治制度	民主政治の仕組みについての知識、意義、意味について考察させ理解させる。現代の政治的課題について考察する。 世界の主な政治制度について理解させる。		
	日本国憲法と基本的人権 ・日本国憲法の成立 ・日本国憲法の基本原則	日本国憲法の確立の歴史的背景、経緯、政治制度との関連について考察し、理解させる。個人の尊厳、自由、平等などの社会的価値について考察し理解させる。		
	・自由に生きる権利	自由権について理解させる。自由権の成立背景について考察させ理解させる。		
5月	・平等に生きる権利 ・社会権と参政権・請求権	平等権について理解させる。差別をなくす方法を考察させる。差別撤廃の努力について理解させる。 社会権について理解させる。社会権の成立過程について理解させる。社会権において、生存権、教育、労働、福祉に関することを理解させる。 参政権と請求権について理解させる。	定期考査 課題 等	6
	・新しい人権 ・人権の広がりりと公共の福祉	基本的人権の拡充として様々な権利が主張されていることを考察させ理解させる。 人権の国際化について考察させ理解させる。 公共の福祉について考察させ理解させる。		
	日本の政治制度と政治参加 ・政治機構と国会 ・内閣と行政機能の拡大	国民主権、議会制民主主義、権力分立、議院内閣制などの概念やそれにかかわることを理解させる。 国会・内閣について理解させる。		
6月	・公正な裁判の保障	公正な裁判の保障があることを理解させる。司法権の独立について理解させる。司法制度について理解させる。裁判所について理解させる。違憲審査制について理解させる。裁判員制度を通して、国民の司法参加の意義を理解させる。	定期考査 課題 等	8
	・地方自治と住民福祉 ・政党政治 ・選挙制度 ・世論と政治参加	地方自治と住民の関係性について考察させる。 地方自治が民主政治の基盤であることを理解させる。地方自治における直接民主制について理解させる。地方自治の諸課題について考察させ理解させる。 政党政治について理解させる。戦後日本の政党政治の変遷について理解させる。政党政治の課題について考察させ理解させる。 選挙制度について理解させる。選挙制度の課題について考察させる。 世論の形成について理解させる。世論の反映ほうほうについて考察させる。政治参加の大切さや市民として行動できることを考察させる。		
	現代の国際政治 ・国際社会と国際法	国際政治の成立・国際法について理解させる。 領土に関することを考察させ理解させる。		
	・国際社会の変化 ・国際連合と国際協力	人間の安全保障について考察し理解させる。国際的な人権保障について理解させる。NGOの役割について考察させ理解させる。 集団安全保障について理解させる。国際連合や国際機構の役割について理解させる。		

	指導内容	政治・経済の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
7月	<ul style="list-style-type: none"> 第二次世界大戦後の国際政治 冷戦終結後の国際政治 軍拡競争から軍縮へ 	<p>冷戦体制の推移、終結について理解させる。</p> <p>冷戦終結後の国際社会について理解させる。文化や宗教の多様性について理解させる。紛争やテロの背景について考察させ理解させる。</p> <p>軍拡競争から軍縮への流れを理解させる。核廃絶へ向けて考察させる。</p>	定期考査課題等	4
9月	<ul style="list-style-type: none"> 日本の平和主義と国際平和 平和主義と自衛隊 日米安全保障体制の変化 	<p>平和主義について理解させる。自衛隊の創設、活動範囲の拡大の背景について考察させ理解させる。</p> <p>日米安全保障条約について理解させる。日米安全保障体制の変容について考察させ理解させる。</p>	定期考査課題等	8
	<ul style="list-style-type: none"> 21世紀の平和主義 日本の外交と国際社会での役割 	<p>有事法制について理解させる。</p> <p>戦後の日本の外交の流れについて理解させる。</p> <p>平和主義のもと、日本の役割について考察させ理解させる。</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> 現代の経済 経済社会の変容 資本主義経済の成立と発展 現代の資本主義 	<p>資本主義経済の発展、成立、課題について考察させ理解させる。</p> <p>社会主義経済の形成、変容、課題について考察させ理解させる。</p> <p>新自由主義について理解させ、現代の市場経済とグローバリゼーションについて考察させる。</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> 現代経済のしくみ 経済主体と市場の働き 企業の役割 	<p>経済主体の経済循環について理解させる。需要と供給について理解させる。様々な市場があることを理解させる。市場で資源が配分される機能があることを理解させることと、市場の限界があることを理解させる。企業について理解させる。企業の社会的責任について考察させ理解させる。</p>		
10月	<ul style="list-style-type: none"> 国民所得 経済成長と国民の福祉 	<p>経済活動の指標について理解させる。</p> <p>経済成長や景気変動について理解させる。物価の動きについて理解させる。経済成長と豊かさ、福祉の関係性について考察する。</p>	定期考査課題等	8
	<ul style="list-style-type: none"> 金融の役割 日本銀行の役割 	<p>金融の役割について理解させる。金融に関する環境の変化について考察させ理解させる。</p> <p>中央銀行の役割、金融政策について考察させ理解させる。</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> 財政の役割と租税 日本の財政の課題 	<p>財政の役割について理解させる。租税の仕組み、種類について理解させる。</p> <p>税制改革、財政構造改革について理解させる。日本の財政の課題について考察させ理解させる。</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> 現代の日本経済と福祉の向上 戦後復興から高度経済成長へ 安定成長からバブル経済へ 	<p>戦後復興から高度経済成長への流れについて考察させ理解させる。</p> <p>バブル経済への流れについて考察させ理解させる。</p> <p>バブル経済崩壊後の日本について考察させ理解させる。</p>		
11月	<ul style="list-style-type: none"> 転機に立つ日本経済 中小企業と農業 	<p>バブル崩壊後の日本の経済対策について考察させ理解させる。今後の日本経済について考察させる。</p> <p>中小企業の現状と課題について考察させ理解させる。</p> <p>農業の現状と課題について考察させ理解させる。国際化によって受ける農業への影響について考察し理解させる。</p>	定期考査課題等	8
	<ul style="list-style-type: none"> 消費者問題 公害防止と環境保全 	<p>消費者問題について理解させる。消費者の権利と義務について理解させる。消費者主権に関して考察させ理解させる。</p> <p>公害の発生について考察させ理解させる。公害防止や環境保全のためにできることを考察させ理解させる。</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> 労働問題と労働者の権利 こんにちの労働問題 社会保障の役割 	<p>労働者の権利の確立について考察させ理解させる。労働三法について理解させる。労働環境について考察させ理解させる。</p> <p>雇用形態の変容について考察させ理解させる。職場における人権について考察させ理解させる。</p> <p>社会保障制度の発展について考察させ理解させる。社会保障制度の課題について考察させ理解させる。</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> 現代の国際経済 貿易と国際収支 外国為替市場のしくみ 	<p>自由貿易と保護貿易の背景を考察させ理解させる。国際収支の分類について理解させる。</p> <p>外国為替市場の仕組みについて理解させる。為替レートが経済に与える影響について考察させ理解させる。</p>		

	指導内容	政治・経済の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
12月	・第二次世界大戦後の国際経済 ・国際経済の動向	戦後の国際経済の体制について考察させ理解させる。 経済のグローバル化について考察させ理解させる。貿易協定について理解させる。	定期考査 課題 等	6
	・国際経済の動向 ・発展途上国の諸問題	新興工業国の現状について考察させ理解させる。国際経済とグローバル化の課題について考察させ理解させる。 南北問題の解決に向けて考察させ理解させる。発展途上国の諸問題について考察させ理解させる。		
	・経済協力と日本の役割	世界の様々な問題に対して、先進国や国連はどう対応しているか考察させ理解させる。日本のODAとその課題について考察させ理解させる。世界の課題に対して私たち一人ひとりがどのような事ができるか考察させ理解させる。		
	期末考査			
1月	現代社会の諸課題	現代社会の諸課題（地域社会の変貌と住民生活、産業構造の変化と中小企業、農業と食料問題、雇用と労働をめぐる問題、少子高齢社会と社会保障、地球環境問題、地球環境と資源エネルギー問題、人種、民族問題、経済格差の是正と国際協力、国際社会における日本の立場と役割などから選択）について多面的多角的に探究させ、望ましい解決の在り方について考察させる。	定期考査 課題 等	6
	学年末考査			
2月	現代社会の諸課題	現代社会の諸課題（地域社会の変貌と住民生活、産業構造の変化と中小企業、農業と食料問題、雇用と労働をめぐる問題、少子高齢社会と社会保障、地球環境問題、地球環境と資源エネルギー問題、人種、民族問題、経済格差の是正と国際協力、国際社会における日本の立場と役割などから選択）多面的多角的に探究させ、望ましい解決の在り方について		8
3月				
				70